

6

えひめの海を汚さない！～海を守り続ける人たち～

海を守る仲間の輪！

愛媛県海岸漂着物対策活動推進員・団体制度について

愛媛県内には、ごみを回収したり、海洋ごみに関する啓発活動を行ったり、海洋ごみを削減するために活動している人たちがたくさんいます。

愛媛県では、こうした人たち（愛媛県海岸漂着物対策活動推進員・団体）と協力して海洋ごみをなくすために、様々な事業を行っています。

その他の海岸漂着物対策活動
推進員・団体の活動はコチラ▶



ビーチクリーン
活動

海洋ごみの
調査・研究

学校や地域での
出前授業や啓発活動



子どもたちへメッセージ

興居島へ行くのが本当に楽しい、
やりがいがあります！ 多くの人に
海を身近に感じて、
海を見に来てほしい。

学生の私たちだからできるごみ回収のやり方！ 海に行くことで気づく課題と、海のおもしろさ！



学校の授業後や休みの日を利用して、興居島を中心に、忽那諸島全体で年15回ほど海岸清掃活動を行っています。忽那諸島は、島民の高齢化が進み、島民だけではごみ拾いが難しい状況です。部員が活動を始めたきっかけは「元々ボランティアに興味があった」や「友達に誘われて入部した」など様々。実際に活動すると、想像の数倍のごみがあって驚くと同時に、普段のごみの見方が変わりました。清掃活動には、約20名の部員以外に全校生徒への呼びかけに応じ

てくれた有志も参加しています。高校生だからできるチームワークや行動力で、ごみ袋約200袋分の漂着ごみを回収したこともあります。また海洋ごみの現状を伝える啓発活動も積極的に行っています。多くの子どもたちに私たちの活動を知ってもらい、大きくなったら活動に参加してほしいです。



松山北高校愛媛グローバル部
愛Landまつやま
(NPO団体松山北高校興居島ボランティアチーム)

日本一細長い佐田岬半島の海士(素潜り漁師)。

潜ってわかる海の変化。

漁師だった祖父の影響で海が好きになり、現在は伊方町三崎で漁師をしています。海に潜ると、残念ですがプラスチックごみがたくさん沈んでいます。海が汚れると漁獲量は減り、豊かな海が失われていきます。

きれいな海で育った魚を多くの人に食べてほしいとの思いで、2013年から漂着ごみや海底ごみの清掃活動をしています。また、漁師仲間と「さだみさき海援隊」という団体を立ち上げ、活動の輪を広げています。

海底ごみの清掃はスキルが必要で、慣れていないと

なかなか取り組むことは難しいですが、海岸に打ちあがっている漂着ごみは、誰でも拾うことができます。海洋ごみは海の周りに住んでいる人だけの問題ではありません。魚も人も住みやすいきれいな環境を作るには、多くの人の協力が必要です。

子どもたちへメッセージ

魚を食べたり、釣ってみたい、
海を散歩したり、
海を満喫してほしい。
そして海の恵みを
守ってこう。



尾崎健史さん



大人たちの本気のごみ拾い！ ごみ拾いのプロフェッショナル集団。

えひめの無人島などの浜辺に、何十年もかけて溜まった漂着ごみは何重もの層になっているのをご存知ですか？2016年から本格的に調査・回収をはじめ、今まで回収したごみは約50トン、体積にすると約6,500m³（25メートルプール約12個）を超えました。県内外からも仲間が集まり、泊まりがけで船でしか行けない海岸の清掃活動をしています。

これまでの活動できれいになった浜辺もありますが、一度きれいに拾っても何度もごみが流れ着く場所もあります。瀬戸内海のごみは、ほとんどが私たち瀬戸内海に住む人々が出したごみです。普段の生活からごみを出さないように意識し、流れ出てしまったごみは継続的に拾えるような社会を作ることが重要です。



子どもたちへメッセージ

大人がいて、海をきれいに
保つ仕組みを作っている
最中ですよ。子どもたちには
その仕組みを繋げて
ほしい。



一般社団法人E.Cオーシャンズ
代表理事
岩田功次さん

